

# 星屑の子どもたち

## Yusuke Asai Stardust KIDS

# 浅井裕介展

アートは“かがやき”北陸新幹線福井開業記念

開館時間：10:00～17:00 (観覧入場16:30)

4.27 sat - 8.25 sun 2024

休館日：月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日休館) ※8月13日(火)は開館

### 金津創作の森美術館

観覧料：一般 600円(400円)、65歳以上・障がい者 300円、

(内は20人以上の一般団体割引)

### アートコア・野外美術館

高校生以下・障がい者の介護者 [当該障がい者1人につき1人] 無料



Photo: Yusuke Asai

アートは、かやき、北陸新幹線福井開業記念

「浅井裕介展」星屑の子どもたち

2024年4月27日(土)・8月25日(日)

会場：美術館アトコア、野外美術館

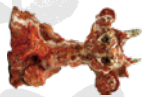
開館時間：10時~17時(最終入場16時30分)

休館日：月曜日(祝日の場合は開館)、翌平日(休館) ※8月13日(火)は開館

観覧料：一般600円(400円)、65歳以上・障がい者300円

(内は20人以上の一般団体割引)

会期中、様々なイベントを開催します。HP・SNSをご参照ください。



創作の森美術館  
(公財)金津創作の森財団  
〒919-0806  
福井県あわら市宮谷57-2-19  
TEL:0776-73-7800  
FAX:0776-73-7805  
http://sosaik.jp

主催：(公財)金津創作の森財団  
主権：あわら市、あわら市教育委員会、福井新聞社  
後援：福井県、(公財)福井県文化振興事業団、北國新聞社、北日本新聞社、FCG、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、(一社)あわら市観光協会、月刊URBAN編集室  
協力：ANOMALY、BankART1929、KURUKU FIELDS、森のキッチン・エフ  
特別協賛：カネ井加工紙株式会社、ターナー色彩株式会社



《鳥の子供》2024、画人 藤  
Photo: Maki Taguchi ©Yusuke Asai



《鳥の記憶》2024、紙に色鉛筆、アクリル、水彩  
H29.7×W21cm ©Yusuke Asai, Courtesy of ANOMALY

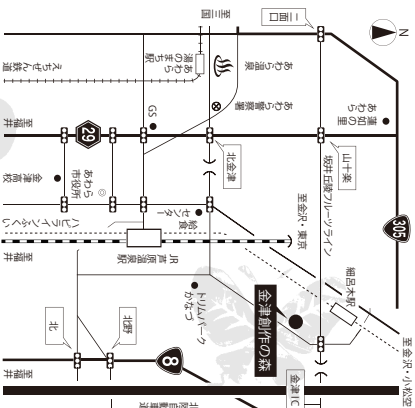
**浅井裕介 Yusuke Asai**  
1981年東京都生まれ。美術作家。土、水、埃、小麦粉、テープ、ペンなど身近な素材を用い、あらゆる場所に奔放に絵を描き続ける。近年の主な個展に「なんかん/食わせろ」(ANOMALY、2020年)、「浅井裕介一絵の種 土の旅」(箱根彫刻の森美術館、2015-2016年)、「yamatane」(Rice University Art Gallery、ヒューストン、2014年)、グループ展に「芸師在 樺山—広東南海大地の芸術祭」(平沙島、広東省、中国、2022年)、「A Spirit of Gift, A Place of Sharing」(ハンコック・シェーカー・ビレッジ、マサチューセッツ、2022年)、「生命の庭」(東京都庭園美術館、2020-2021年)、「Reborn-Art Festival 2019」(石巻)など。2019年に横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。



《空から大地が落ちてくるぞ》「武隆ランパ国際大地芸術祭」展示風景、重慶、中国、2019  
©Yusuke Asai, Courtesy of ANOMALY

## アクセス

北陸自動車道金津ICから車で5分  
JR芦原温泉駅からタクシーで約10分



## アーティストトーク

浅井裕介による

### 作品解説

4/28(土) 11:00~12:00

会場：美術館アトコア、他  
定員：30人  
要覧観覧券+整理券

※整理券=当日10:00から受付で配布

## クローゼンングイベント

対談+公開制作

「絵はどこから来るのだろう?」

田島征三  
(絵本作家・美術家)

× 浅井裕介

8/24(土) 13:30~16:30

会場：美術館アトコア  
料金：要覧観覧券  
定員：先着50人

**森のアート“さんぽ”**  
作家と森を散歩しながら、考察、記憶する、日々のなんでもないけれど贅沢な時間を共有しましょう!

4/28(土) 14:00~15:30

会場：野外美術館 定員：20人  
(中学生以上) 参加券：500円

※参加券=当日10:00から受付で配布  
※特典=展覧会オリジナル付き



# 子どもたち

浅井裕介は、土や石、水、テープなど身近な素材を用い、マツチ箱から50mを超える壁面まで、アートプロジェクトにおけるインスタレーションへの取り組みなど、受け止める場所や環境にしながらに呼応して奔放に描きます。

本展は、「あらゆるものは変化を続ける」をキーワードに、滞在制作型の泥絵作品をはじめ、100点を超える陶器の立体作品や土そのものを見つめるような抽象絵画への挑戦など、五感を通じて見るものに身近な日常を再認識させるような作品を展示します。

多様な生き物や無生物も全てがこの星から生まれてこの星に還っていくという、浅井が創造する命の形が創り出す、さまざまな物語と、これらが相互に呼応して織りなす神話的な世界を体感ください。